

越前町議会・令和4年6月定例会一般質問【石田和朗議員】

(令和4年6月9日 午前10時58分 開始)

○4番(石田和朗君) 座っての質問の機会を与えてくださった議長さん、町長さん、理事者、議員の皆さんへ深くお礼申し上げます。

突然襲いかかった脊髄梗塞という病魔と闘いながら、約半年経過しました。おかげさまで、杖は使っていますけれども歩行可能になりまして、この席へ着座させていただけることが幸せに感じております。

さて、私の質問は、悠久ロマンの杜の振興対策について。

悠久ロマンの杜の今の現状についてですが、先日、5月中旬の晴れた日に、ふと思立って四ツ杉から自家用車で、悠久ロマンの杜をかなり以前の記憶をたどりながらゆっくりゆっくり登りました。

最初に、私が大学生の夏休み中、友人と誘い合わせてアルバイトで森林の下刈り作業をしたことがある場所、喰付熊、いわゆるキャンプ場です。看板には「四季の森」と書いてあって、針葉樹や紅葉、溪流がきれいで和ませ、周辺には多くのフィールドアスレチックが設置されていて、子どもたちを楽しませるエリアでした。その昔、二、三十年前の夏休み期間、どこの大学だったか、サークルの皆さんが飯ごう炊飯やテント張りやキャンプファイア設営、フォークダンスの指導などをして、たくさんの少年少女の思い出づくりをしてくれたことを覚えています。

先を進み、エボシ山の三差路、銀杏峰を右折して、少し下った場所にスーパーライダーのステーションがありました。車から降りて看板を見ると、「豪雪のため当分の間休業します」と書いてありました。近く撤去する予定と聞いていますが、それにしても周りは雑木が生い茂り、栄枯盛衰の体でした。近くには、かわいい滑り台やパターゴルフが楽しめる場所があったのですが、そこも草ぼうぼうでした。

それから下のほうへ進み、エアコンがずっと故障中と言われている県民もりの学び舎を眺め見て、やっと悠久ロマンの杜というか、朋楽の里にたどり着き、一服しました。茅葺き屋根の工事があったので、それを眺めていました。

それから少しまた下ったところで、旧萩野小学校箕松分校で一旦停車、藤岡陽子先生の小説で、増永眼鏡の創成期の物語、機屋から眼鏡屋への転業までの喜怒哀楽があり、浅水地区の大土呂、文殊山とかの地名、そして越前町かいわいでは、春先の積もっている雪の表面が少し溶けて、早朝の冷たく、急冷、しみ渡っていることをシミと言いますが、足羽地区ではおしよりんと言って、題材になった映画「おしよりん」の撮影現場です。将来、ひょっとしてレガシー化して、多くのファンが詰めかけるかもしれない校舎を眺めて、思いをはせました。

それは、町長が映画「おしよりん」の撮影時に、スタッフの皆さんのところへ出向いたこと、町の特産品の越前焼をプレゼント、タケノコ弁当や揚げ出し豆腐の差し入れ、こうして喜ばれたことなどが大々的に報道され、新聞に取り上げられました。私は、青柳町長は、里山のことも見捨てていなく、理解しているんだなと思えました。そういう意味で思いをはせたわけでございます。

不遜ですが、失礼なことなんでしょうけれども、小説の中身には無縁の場所、萩野小学校箕松分校、現在の形姿はほとんど廃屋なのに、何ゆえ所ジョージのダーツの矢が刺さる番組みたいに射られたのか。詮索はともかく、一流の監督、カメラ、俳優やスタッフの総力を挙げての作品は、日本中の映画館でいずれ鑑賞されます。

その撮影場所の上映シーンは30秒、何分かでしょうけれども、風景が私は楽しみです。

しかし、聞くところによると、笈松ですけれども、集落の住民にて辛うじて維持管理されてきたその建物や周辺が限界状態で、存続させることが無理で、近く取り壊すとか。北陸新幹線誘致関係で、自分なりの言葉で言うと「誘客大作戦」を模索中の越前町は、ピンチをチャンスと考えるならば、観光施設として悠久ロマンの杜への通り道筋にある萩野小学校笈松分校校舎を何らかの形で残しておいたほうがよいと思います。

そこで、今後の整備、維持管理について伺います。

近く悠久ロマンの杜の周辺を整備して、誘客対策を模索していると聞きます。茅葺き屋根のそば屋、茅葺きの宿、ログハウスコテージの修復・修繕、新たに北陸新幹線福井県開業に当たって、誘客対策の一環として、ドッグラン、バーベキュー、子ども広場などの拡充計画をしているとのことですが、良い方向で進め、誘客対策がうまく展開されることを期待するものですが、肝心なことから始めなければ前進はおぼつかないと思います。

まずはアクセス対策、狭過ぎる集落内での車の対向通行困難箇所の拡幅整備もしくは入尾トンネルから現地へのバイパス建設の必要性、そして、何より悠久ロマンの杜に来ていただいた来客へのおもてなし、山や谷や清流、空気もまた、それらは一層のごちそうと私は思っています。

顧客満足度のため、美観の保持、今後の整備や維持管理体制をどのように考えているのか、町長のご所見をお伺いいたします。

○議長（笠原秀樹君） 町長。

町長（青柳良彦君） 登壇

○町長（青柳良彦君） それでは、石田議員のご質問にお答えいたします。

悠久ロマンの杜へのアクセス道路についてですが、悠久ロマンの杜に通じる1級町道沖田笈松線は、県道福井大森河野線の赤井谷地係から山田区、入尾区、笈松区、そして悠久ロマンの杜を経て、広域基幹林道西部3号線へと通じる道路で、地域の皆様の生活道路として、また悠久ロマンの杜や越知山、六所山等を訪れる観光客にとりまして、重要な観光アクセス道路として利用いただいております。

当路線は、狭隘な箇所や急カーブが多く、利便性や安全性に問題を抱えていたことから、平成27年度において越前町辺地総合整備計画を策定し、昨年までの7年間で、約1億4,000万円をかけ、当路線の改良整備と安全対策を行ってまいりました。おかげさまで、以前に比べますとかなりの改善が図られたのではないかと感じております。

しかしながら、議員ご指摘のとおり、集落内や悠久ロマンの杜までの一部の幅員が狭い点や水道施設、悠久ロマンの杜の宿泊施設等の老朽化、さらには悠久ロマンの杜全体の活性化など多くの課題が残っていることから、3月定例会におきまして議会のご議決をいただき、越前町辺地総合整備計画を5年間延長したところでございます。

令和6年春の北陸新幹線福井開業への期待が膨らむ中、令和5年中には国道417号の福井県と岐阜県の県境にある冠山峠トンネルが開通予定であり、越前町への観光誘客には絶好のチャンスを迎えようとしております。このチャンスを見逃さないためにも、入尾・笈松両区の住民の皆様の生活環境の改善を図るとともに、現地を訪れた方がスムーズに目的地に到着できるような道路の整備を進めていく必要があると考えております。

議員ご提案の入尾区越知隧道から悠久ロマンの杜に抜けるバイパスにつきましては、現在の交通量や冬期の除雪、整備費用などを考慮いたしますと、町といたしましては、まずは現道の側溝の蓋がけや舗装など、道路改良により整備してまいります。

次に、悠久ロマンの杜の今後の整備や美観保持、維持管理体制でございますが、まず、今後の整備に関しましては、越前町辺地総合整備計画の中の悠久ロマンの杜活性化事業を基本とし、個々の具体的な内容につきましては、各年度の予算編成の中でお示ししてまいりますので、議会におきましてご審議賜りますようお願い申し上げます。

また、悠久ロマンの杜や周辺環境の美観保持と今後の維持管理体制でございますが、これまでも町道や広域基幹林道沿いなどは、町におきまして必要に応じて草刈りや清掃などを行い、通行の安全確保と環境美化に努めております。悠久ロマンの杜の周辺に関しましても、施設の指定管理者におきまして清掃美化に努めているところでございます。しかしながら、議員ご指摘のスーパースライダー施設やパターゴルフ場跡など、既に閉鎖した施設については順次撤去を進め、美観の保持に努めてまいります。

また、維持管理体制に関しましては、悠久ロマンの杜の指定管理契約に基づき、一般社団法人入尾・笈松活性化委員会に令和7年度末まで維持管理を行っていたこととしております。

町といたしましても、施設の維持管理や周辺の美化などにつきましては、指定管理者と連携を図り、取り組んでいくとともに、必要に応じて指導や助言を行ってまいりたいと考えております。

この悠久ロマンの杜や周辺の山間地帯は、緑に囲まれ、豊かな自然に恵まれております。その自然を求めて訪れる皆様が今後も快適に過ごしていただけるよう、環境美化や施設の維持管理に努めてまいりますので、議員におかれましてもご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

○議長（笠原秀樹君） 石田和朗君。

○4番（石田和朗君） 事前通告には申し上げなかったこともありまして、笈松分校の存続の検討につきましては、また後日伺いたいと思いますので、私の気持ちは先ほど伝えたとおりでございますので、ご検討よろしく申し上げます。

以上で、私の一般質問を終了いたします。ありがとうございました。

（午前11時15分 終了）